Shokuhin News Neo -2021 May-

神戸大学大学院 農学研究科 生命機能科学専攻 食品・栄養化学研究室
〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町 1−1 自然科学総合研究棟 2 号館 211 号室
電話 078-803-6553 E-mail: shoku@kobe-u.ac.jp http://www.kobe-u.ac.jp/shokuhin

News

応用生命化学実験Ⅱ スタート！

5月12日(水)より、応用生命化学コース3回生が受講する応用生命化学実験Ⅱで食品・栄養化学研究分野が担当する「食品が肝臓の薬物代謝酵素に及ぼす影響に関する研究」が実施された。3回生は、この実験で研究に必要な正しい実験動物の取扱手法および動物細胞培養技術を習得する。今年度も昨年度と同様、密を避けるために学生を半分に分け、二つの学生実験室を用いて実験を進めるように工夫が取られた。

多くの3回生にとってマウスに触れるのは、初めての経験であるため、はじめのうちは手慣れない様子であったが、橋本堂史准教授やＴＡの手助けもあり、次第にうまくマウスを扱えるようになっていった。動物実験だけでなく、培養細胞を用いた実験も含め、全実験が6月3日(木)に終了する。しかし、3回生にはレポートの作成が待っている。6月29日(火)の締め切りまで、もうひと踏ん張り、頑張ってほしい。

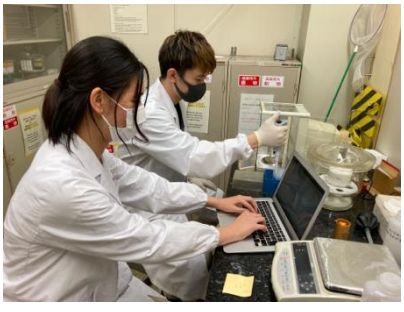
3回生に計算方法について説明をするTAの(M1)。

3回生は、この1年間を通して応用生命化学コースの全研究室の実験に触れながら、実験技術を習得していくことになるが、少しでも食品・栄養化学分野に興味を持ってくれる学生が増えていれば幸いである。

実験で得られた測定結果を真剣な眼差しで3回生と議論するＴＡの吉田亘志(M1)。

キャリブレーション

5月に始まった2021年度のキャリブレーション(ピペットマンの校正)が終了した。誤差が大きく、実験に適さないピペットマンが多く見られたが、Nichiryo の技術員の方の手によって正確なピペットマンへと生まれ変わった。ピペットマンは日常の実験でも必要不可欠なものであり、その誤差は実験結果に大きく関わってくる。そのため、今一度使用方法を確認し、定期的に点検を行うことで、大切に使用していきたい。



試薬室でキャリブレーションを行う辻楓歌(手前、B4)と田中僚(奥、B4)。

原著論文

Yuichi Sakamoto, Shino Sato, Keiko Nakade, Miyuki Ito, Takahiro Yamauchi, Katsumasa Eda, Fumikazu Goto, Masashi Mizuno, Naotake Konno. Screening of a *Lentinula edodes* mutant that retains lentinan contents long after being harvested using TILLING. *ACS Agricultural Science & Technology*, 1, 143-149, 2021.

Lulu Han, Iwao Sakane, Masashi Mizuno. Synergistic anti-allergy activity using a combination of *Enterococcus faeccalis* IC-1 and luteolin. *Food Bioscience*, 41, 100924, 2021.

フリートークスペース

こんにちは、M1の中村です。今回は私の趣味でもあるキャンプの良さについて紹介させていただきます。私はキャンプ上級者というわけではないので、素人意見として読んでいただければと思います！

まず、なんといっても自然を存分に楽しめるということがキャンプの

楽しみの一つです。日常を忘れ、静かな場所で自然に囲まれてゆったりとした時間を過ごすことでとても癒されます。虫が苦手で抵抗がある方も少なくないと思いますが、場所によってあまり虫が多くないキャンプ場もあるのでぜひチャレンジしてみてください。

もう一つの楽しみはやはり食事です。定番のバーベキューに始まり、カレーやシチューなどを作ったり、道具があれば燻製を作ったりすることもできます。普段の食事と違い、外で食べるので新鮮な気持ちで楽しめること間違いなしです！個人的には食事のための買い出しがとてもわくわくするので好きです。

この他に、海や川があればそこで遊んだり釣りを楽しんだりもできますし、温泉が近いキャンプ場ならゆっくりと疲れをとることもできます。行き帰りの道中で寄り道して観光を楽しむのも一つの楽しみだと思います。キャンプの楽しみ方は人それぞれなので、ぜひ自分の好みのスタイルで楽しんでみてはいかがでしょうか！

編集後記

4月に研究室に配属され、はや2ヶ月が経ちました。新しい生活にも慣れ、研究に触れる中で、少しずつですが、成長を感じます。しかし、このままだとあっという間に1年が過ぎ去ってしまいそうなので、しっかりと計画を立て、有意義な研究室生活にできたらと思います。

峰松　大空（B4）